

内視鏡洗淨における 恒温槽付きシンクの使用経験

村上記念病院 内視鏡センター・消化器内科

日本消化器内視鏡技師学会 COI開示

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業など
はありません。

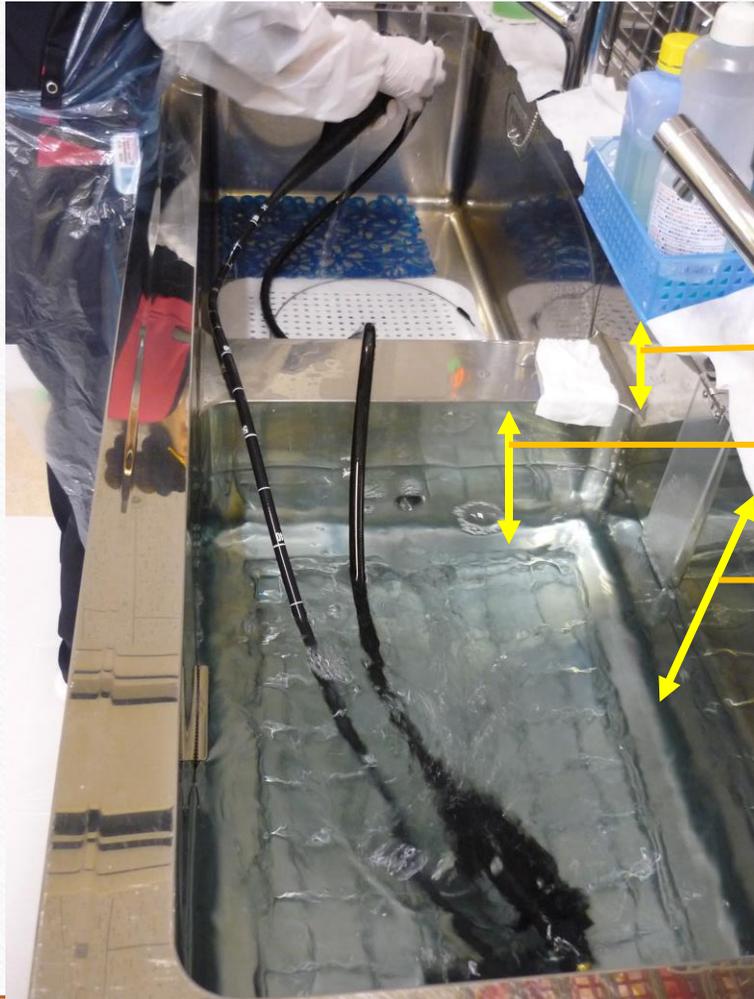
はじめに

恒温槽を用いての洗浄は眼科領域の器具の洗浄において有用性が報告されたことより、内視鏡洗浄においてもその効果と広がりが期待される。今回、内視鏡センターに恒温槽付きシンクを導入したのでその経験と有用性について報告する。

恒温槽付きシンク (アスカメディカル社製)



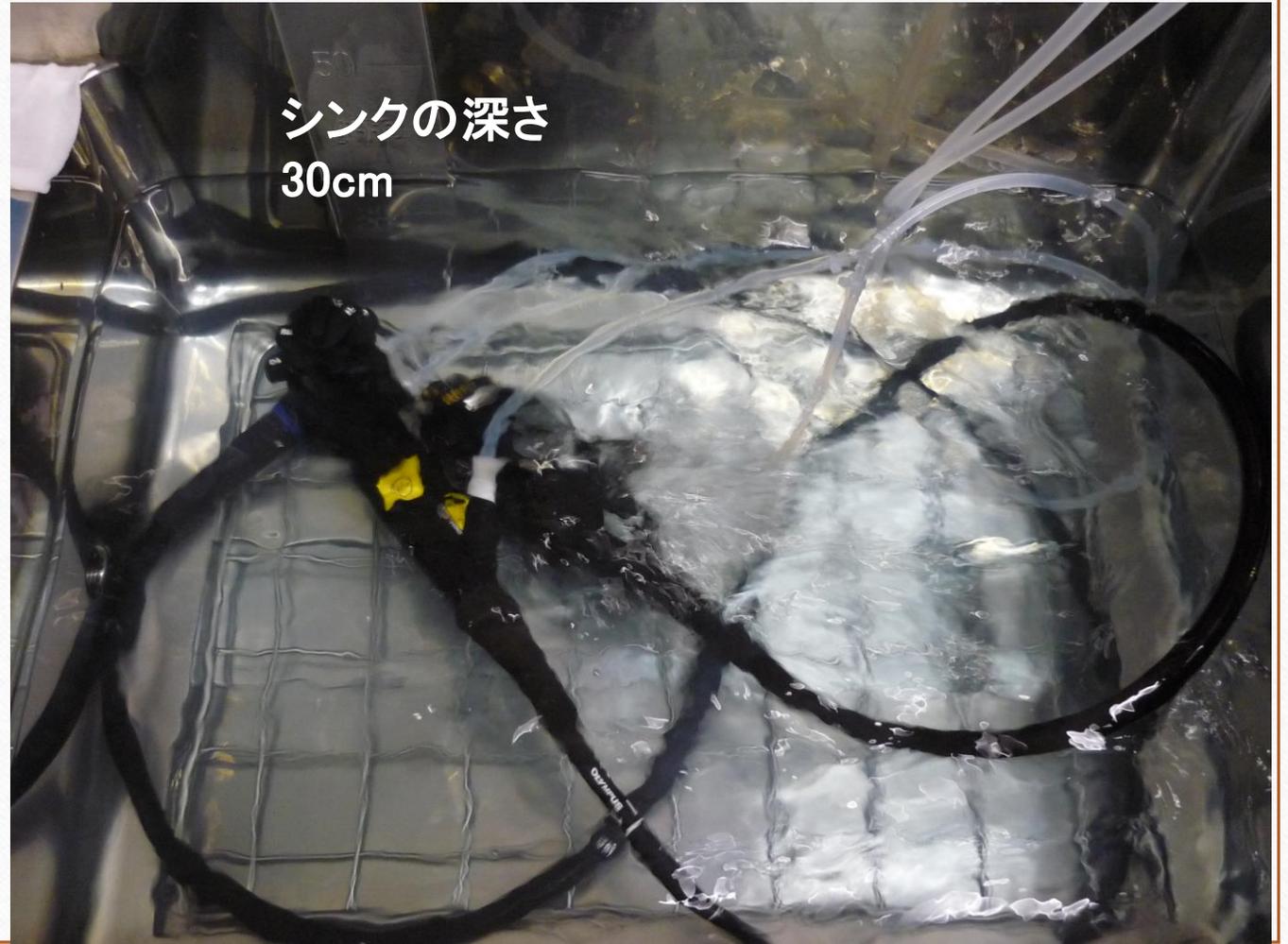
恒温槽付きシンク



段差
10cm

仕切り
20cm

シンク
の深さ
30cm



シンクの深さ
30cm

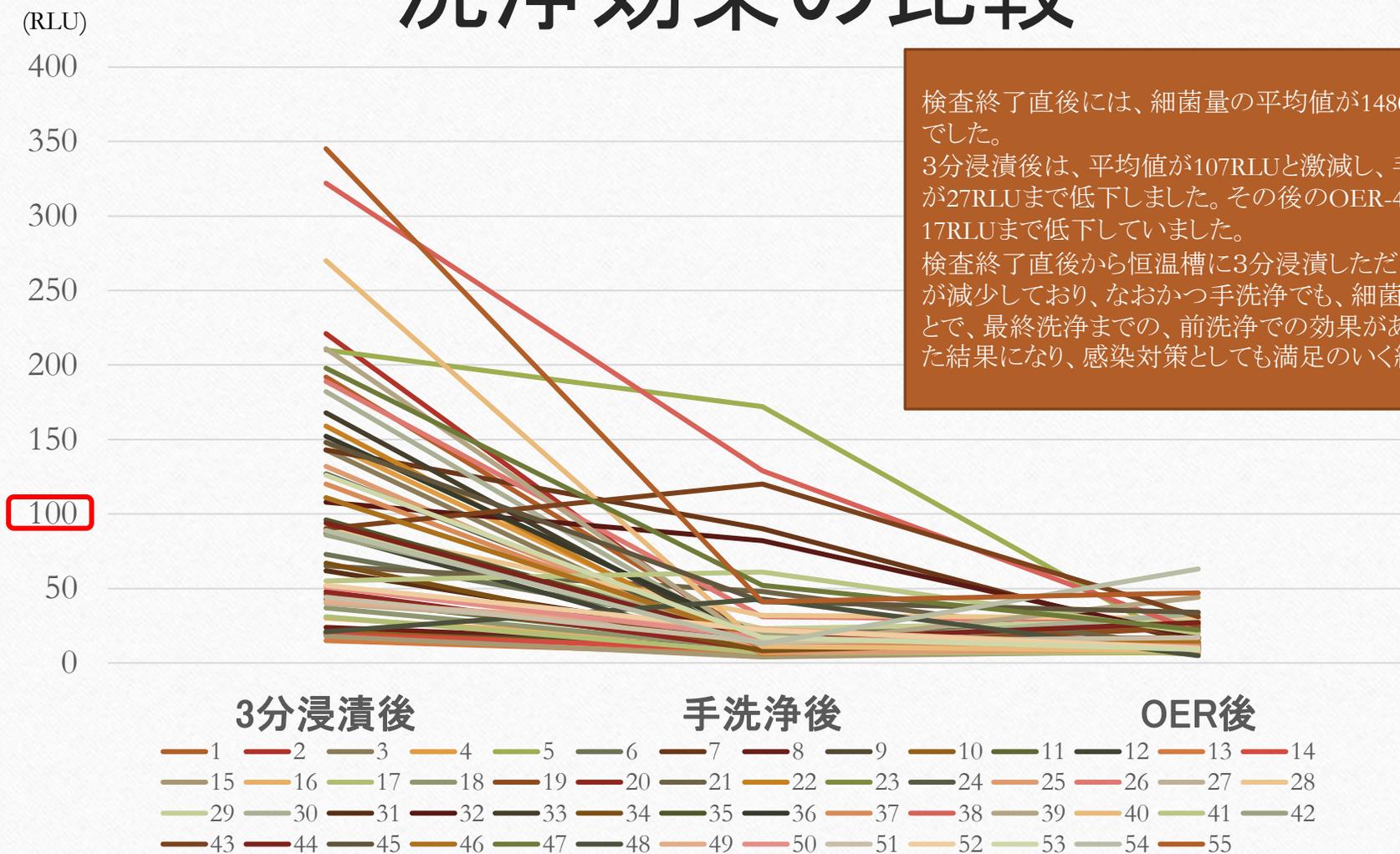
洗淨効果の検討(ATP法)

ATP法 測定器:キッコーマン、ルミテスタースマート
スワブ;ルシパックA3 surface
測定単位:RLU
件数;55件

測定法; A 検査終了直後
B 恒温槽浸漬しチューブ接続3分後
C 手洗淨後
D OER-4終了後

洗浄効果の比較

細菌量



検査終了直後には、細菌量の平均値が148036RLUと著明な高値でした。

3分浸漬後は、平均値が107RLUと激減し、手洗浄後には平均値が27RLUまで低下しました。その後のOER-4洗浄後には、平均値17RLUまで低下していました。

検査終了直後から恒温槽に3分浸漬ただけで相当数の細菌量が減少しており、なおかつ手洗浄でも、細菌数がさらに減少したことで、最終洗浄までの、前洗浄での効果があったことが証明された結果になり、感染対策としても満足のいく結果と思われました。

使用したスタッフの感想

- ・恒温槽を使用する前と比べて、水温が安定しているので感染面に関しても安心感がある。
- ・洗浄業務の負担が増えることなく、スコープ洗浄効果があがってよかった。
- ・洗浄スペースにゆとりがあり、洗浄しやすくなった。
- ・血液汚染が多いスコープなど、処置に使用したスコープ洗浄に信頼感がある。
- ・恒温槽はもちろんだが、手洗浄後の細菌量も激減していたので、引き続き頑張りたいと思う。

考察

- 恒温槽付きシンクは、洗浄者の体格にあわせたオーダーメイド仕様のため使い勝手が良く、仕事効率の改善につながった。
- トータルの洗浄時間にはほとんど変化がなく、作業の負担はなかった。
- 洗浄中の水流と温度を一定に保つことが可能となった。
- ATP法により洗浄後の細菌数の激減を確認した。
- 最終洗浄に至る前に細菌数を減少させることで感染対策につながった。

結語

恒温槽付きシンクを用いた内視鏡洗浄は有用であった。